

横暖ルーフα

工 法

新築

下 地

耐水合板

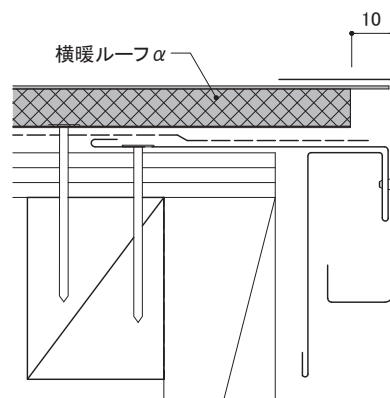
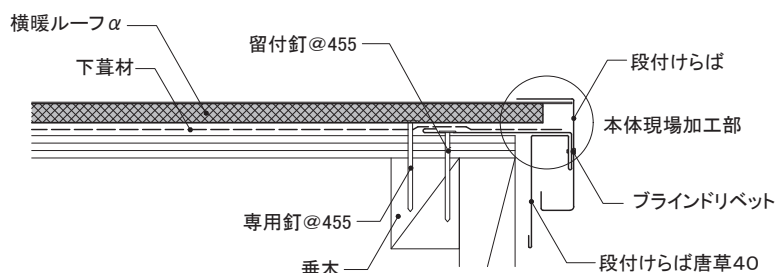
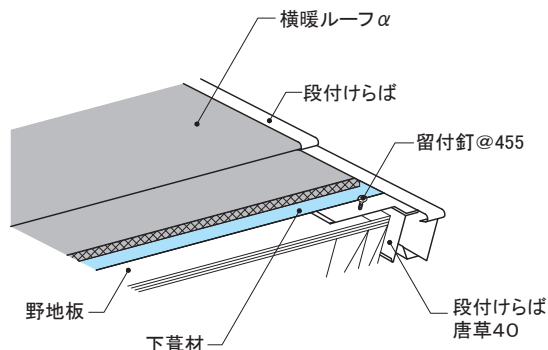
構造

木造

5) けらば部

③ 段付けらば唐草40 + 段付けらば

- 野地板上に、段付けらば唐草40を留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32mm以上）を用いて455mm以下の間隔で留め付けます。
- 下葦材を張り、横暖ルーフα本体は専用釘（ステンレススクリュー釘φ2.3mm×50mm）を用いて、455mm以下の間隔で垂木に留め付けます。
- 段付けらばは、けらば小口にかぶせるように取り付けます。その際、軒先から段付けらば軒先を施工し、以降段付けらばを使用して施工します。
- 段付けらば軒先および段付けらばは側面の穴からブラインドリベットで留め付けます。

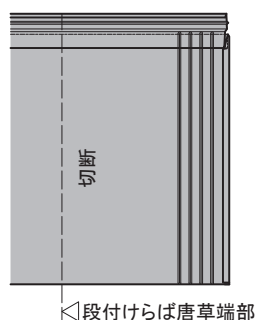


部分断面図

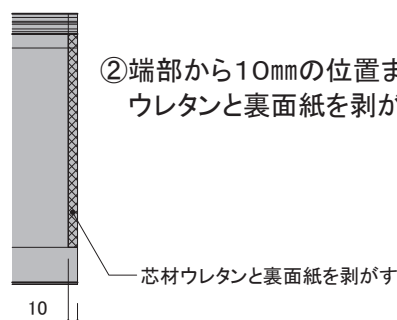
■ 施工ポイント・本体現場加工図

- 横暖ルーフα本体のけらば部分は図のように加工します。

① 段付けらば唐草の端部となる位置を切断します。



② 端部から10mmの位置まで芯材のウレタンと裏面紙を剥がします。



- 段付けらばは図のように軒先からかぶせるように取り付けます。軒先は必ず小口付きの「段付けらば軒先」を使用します。

※「段付けらば軒先」、「段付けらば」は形状が左右で逆になります。必ずご確認の上、施工してください。

